

EGAO の保育みらいっこ令和6年度の園の自己評価

令和7年2月28日

園長 中村 悠香

令和6年度はおおきな災害、大きなけがやトラブルもなく、現在まで無事に1年を過ごしている。

● 体調管理

今年も猛暑が続き、気温、湿度、暑さ指数をチェック、ほぼ全日熱中症アラートがでたため、外遊びや水遊びのできない日が続いた。子供たちの体力低下が気になり、室内で体を動かす遊びの工夫を行うものの限りがあり、また職員も暑さで体力を奪われる、気候の変化による影響はこれからの保育園生活にも大きな課題と思われる。水分補給や園児の体調管理にも十分配慮していかなければならない。感染症では年明け、インフルエンザが流行し、ぶちではかなりの園児が感染、換気、手洗い、消毒はコロナの時と同じように行ってはいるが、特に免疫のない0.1歳児には感染を防ぐことが難しかった。

● 環境

8月に南海トラフ地震警戒情報が出された。また大型台風もあり、保育室の点検、防災備品、非常食、飲料水の確認を行った。予想以上に水が必要であること、実際に非常食も避難先に運ぶことを想定して避難訓練を行い、改善の必要性を感じた。また今年から避難用の履物を準備するようにしたので、避難時はまとめて持ち出せるようにした。今後、安全に避難先に向かえるのか、その場に留まる方が安全なのかを含め、避難先を検討する必要があると思われる。

行事は例年通り行い、運動会、夏祭り、遠足と全園児が参加できるよう工夫して行った。今年からクリスマス会は平日に子供たちと職員で楽しめる会とし、職員が劇を行い、年長クラスが合奏を披露し、楽しい時間を過ごした。今年のはじめてぶちの生活発表会を3月に行う予定。乳児にも発表の場をと職員から意見がでて、その日に向けて楽しく練習を行っている。

今年10月に初めてバザーを開催した。保護者の方から多くの寄付が集まり、一般の方にも解放したので、近隣の方にも園を知る機会になり、地域との交流も深められた。参加した子供たちは買い物やゲームを楽しみ、40,000円を超える寄付が集まり、きつずとぶちそれぞれの子供たちにおもちゃを購入させて頂いた。頂いた寄付で購入したことも子供たちに伝え、新しいおもちゃをととても喜んで遊んでいる。ご協力ありがとうございました。

保育について今年も年初に予算を取り、おもちゃを購入。新しいおもちゃが増え、遊び方もいくつかのおもちゃをコーナーに分け、遊ぶようにして、好きな場所で子供が遊ぶようになったことで遊びこむ時間が増えた。

今年度は年度中の担任の産休、退職があり、保護者にはご心配をおかけした。深刻な保育士不足の中で、特色ある保育の継続が可能か、また今後の職員雇用、保育の体制も検討しなければならない課題と思われる。

子どもたち一人ひとりを大切に思い、毎日楽しく安心して通える園であることがEGAOの保育みらいっこの一番の願いである。改めて、これを大切にする事を職員間で確認していきたい。今後もさまざまな意見に耳を傾け、改善に積極的に取り組んでいく。